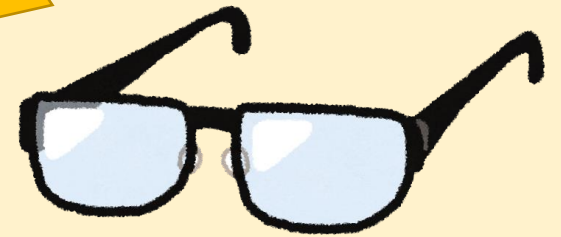


教科学習における ロイロノートの活用

京都市立高倉小学校 田中 清明

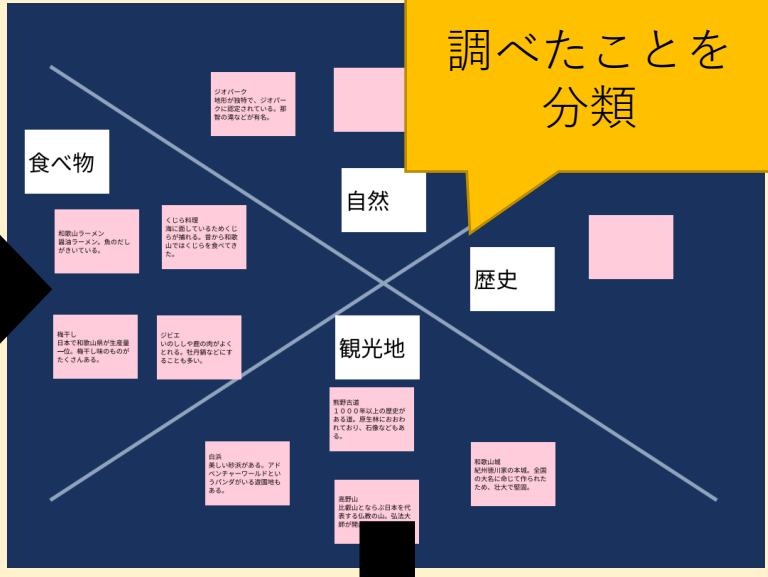
私が考える教科学習におけるロイロノート活用のメリット

- 共有機能により常に友だちと比較できる。
- 何度も考えを更新できる。
- 考えの型を作ることで子どもが手法を自分のものにできる。
- 早い児童は次の活動を取っ先して行うことができる。
- 思考ツールに一瞬で切り替えられる。
子どもが自然と思考ツールを身に付けていく。
- 急なオンライン授業に対応できる。



世界にほこる和紙

資料となる
サイトをweb
カードで送付



調べたことを
分類

都道府県のよさを伝えよう

おわり	中②	中①	はじめ
和歌山県は魅力がいっぱい。ぜひ遊びに行ってください。	魅力2 観光地 和歌山県は遊ぶところや学ぶところがたくさんある。 遊ぶところならば、アドベンチャーワールド。パンダがいっぱいいる。日本でも有名なお寺。	魅力1 食べ物 和歌山県の食べ物は海のものも山のものもおいしい。 たとえば海ならくじら料理が有名。たとえば山なら鹿や猪がおいしい。	和歌山県の説明(位置・大きさ・人口) 和歌山県には様々な魅力がある。

校えつ
↓
「提出箱」へ提出
↓
友だちと交流
↓
原こう用紙に書く

資料となる
写真を見せて
発表



和歌山県



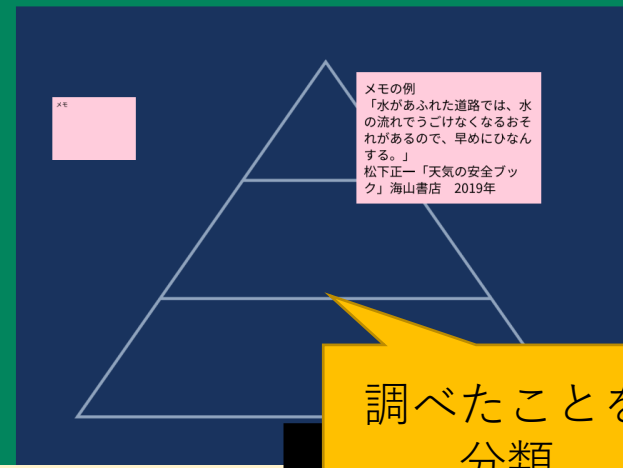
考えたことを書き、読み合おう
「もしものときにそなえよう」

1. テーマを決めて、調べよう。

自分が調べたいテーマ

調べたいと思う理由

2. 調べたことを整理しよう。



3. 原こうの組み立てを考えよう

おわり	中②	中①	はじめ
大雨の時は早めに安全な場所に行くことが大切	理由2 周りがよく見えず 危険がます 岸さんの話 車に気づきにくくなる	理由1 水があふれた水歩くの危険 引用「天気的安全ブック」 写真Ⅱ道路と用水路などのさかい目から らない	大雨の時は早めにひなんすること大切

4. 組み立てを意ききしてまとめよう

おわり	中②	中①	はじめ
<p>〈出典〉 松下正一「天気的安全ブック」海山書店 二〇一九年 大谷良子「災害から身を守る」大空図書 二〇一七年</p>	<p>このように、必要なそなえは、人によってちがってくる。みなさんも、自分や家族には何が必要かを考え、そなえを見直してはどうだろう。</p>	<p>例えは、ぼくの妹は、生後八カ月だ。「災害にそなえよう」というほんの「赤ちゃんに必要な物リスト」を見ると、飲みなれていく種類のミルクやほにゅうびん、紙おむつなどを用意しておくとういことが分かった。</p> <p>ぼくの家には犬もいる。市の資料によると、東中学校が、けがをした動物のちりょうもしてもらえるひなん所になるようだ。同じ資料には、「ふだんからほえないようにしつけ、キャリアバックや食事を用意しておくように」と書いてあった。</p>	<p>じしんへのそなえで大切なことは、自分や家族にとって必要なものを用意することだ。考える。</p>

校えつ
↓
「提出箱」へ提出
↓
友だちと交流
↓
感想カードを送り合う

うなぎのなぞを追って 組み立て

おわり	中②	中①	はじめ
13	12 11 10 9	7 6 5 4	2 3 1
ウナギのこのことについて まとめてこれから自分たちの目標について 言っているとあります。	中②はウナギの産卵 場所と月や場所の関 係などについて言っ ていると思います。	中①はウナギの赤 ちゃんレフトセ ファルスやウナギの 産卵のことについて 言っていると思いま す。	はじめは、ウナギを自 分たちが追っていてそ れについて研究してい るということを書いて いると思います。

うなぎのなぞを追って 要約

おわり	中②	中①	はじめ
もっと読もう を読んで	13	12 11 10 9 8 7 6 5 4	3 2 1
ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。	ウナギの生態はまだ謎が多い。 ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。	ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。	ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。ウナギは卵を産む場所が1.5メートルから1.8メートルの深さで産む。

うなぎのなぞを追って

おわり (感想)	中 (要約)	はじめ (がい要)
「ウナギのなぞを追って」は、最小のレフトセファルスのたまごを探るための手がかりの謎を追う調査の話です。筆者の塚本さんは、一九七三年からこの調査をする研究者です。	一九〇〇年ごろ、卵を産む場所を探す調査が始まりました。初めてレフトセファルスが取れたのは、三十年以上たった一九六七年です。台湾の近くの海で取れて、体長は五四センチメートルでした。そして十年以上たった一九九一年にはマリアナ諸島の西で、十センチメートルのレフトセファルスが四匹も取れました。すると多くの産卵日が新月の日前後に集まっていることがわかりました。それから十年くらいたった二〇〇五年、五センチメートル生後一日のレフトセファルスが見つかりました。研究すると、「新月のころ」「フロントと海山の連なりが交わる地点」でたまごを産むと予想しました。ついに二〇〇九年、目標の1.6センチメートルのたまごが取れました。	「ウナギのなぞを追って」は、最小のレフトセファルスのたまごを探るための手がかりの謎を追う調査の話です。筆者の塚本さんは、一九七三年からこの調査をする研究者です。

「はじめ」はどの段落からどの段落までか、中①中②おわりはそれぞれどの段落からどの段落までかを段落番号が書かれたカードを動かしながら考える。友だちとの交流もしやすい。

「はじめ」「中①」「中②」「おわり」の範囲が分かったら、それぞれの段落に書かれていることを自分の興味に合わせて要約を行う。

要約した内容を生かして、うなぎのなぞを追っての紹介文を書く。

その他の教科



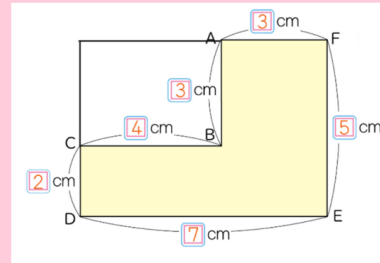
総合的な学習の時間

町たんけんできれぞれが調べてきた内容や写真を同じ地図上にのせていく。情報の共有や考えたこと交流を行いやすい。

式

$$7 \times 5 - 4 \times 3 = 35 - 12 = 23$$

考え方 おおきい長方形の面積から小さい長方形の面積を引くので $35 - 12 = 23$ で 23 cm^2 になる



答え 23 cm^2

算数

面積の求め方を図や言葉でカードに表す。カードを提出箱に提出して共有したり、分類したりすることで、それぞれの考え方の違いを理解することができる。

2022年 月 日 4年 ()

めあて

市名 市

国名

位置

いっから交流しているか

交流のきっかけ・目的

交流内容

☆ふりかえり

社会

自分が住む自治体の姉妹都市について調べたことを記入するフォーマットカードを使用。